

宍道湖流入・流出水調査月報

(平成12年4月期)

水質概要

4月の水温は、表1に示すとおり平年値(上層14.3、中層14.0、下層13.9)に比べてほぼ平年並の変動であった。図1に示すように、4月中旬から下旬では上旬に比べ、4ほど上昇が見られた。また、水深による顕著な差異は見られなかった。高塩分水流入時に中層および下層で水温の下降が見られた。

4月の塩分は、表1に示すとおり平年値(上層4.2psu、中層6.3psu、下層7.3psu)に比べて、上層、中層、下層ともに2-3psu程度高い値を示していた。また、4月においては15psu以上の高塩分水の流入は13回観測され、4月12日・15日にかけて中層および底層に長期間にわたって高塩分水の停滞が見られた。このことは、4月10日以降に気圧の急激な低下によるものと考えられる。

4月は、気圧低下と高塩分水の流入に顕著な関係が見られた(図2参照)。

4月の溶存酸素濃度は、表1に示すとおり上層・中層・下層ともに6.5~8.6mg/lと比較的高い値を示していた(平均値:上層6.8、中層:7.1、下層:7.1mg/l)。

図1に示すように、全層にわたってほぼ4.0mg/l以上と高い値を示していた。また、15psu以上の高塩分水流入時に溶存酸素濃度の低下が見られた。とくに顕著な変動は、4月12日・15日および4月24日が顕著であったが、夏季に比べて極端な低下は見られなかった。

表1 4月期の水質概要

		水温 ()	塩分 (PSU)	溶存酸素 濃度 (mg/l)
上旬	上層	12.6	4.4	欠測
	中層	12.7	5.6	7.9
	下層	12.4	5.8	8.6
中旬	上層	14	6.6	8.6
	中層	13.8	10.5	6.9
	下層	13.8	13	7.3
下旬	上層	15	6	8.1
	中層	14.8	8.7	6.5
	下層	14.9	11.2	6.5
月間平均 (4月)	上層	13.8	5.7	9.8
	中層	13.8	8.3	7.1
	下層	13.7	10	7.1

(水温・塩分平均値は、島根大学 宍道湖・中海水質月報、1994年4月より引用)

(表の中の数字は、平均値を示す)

水質

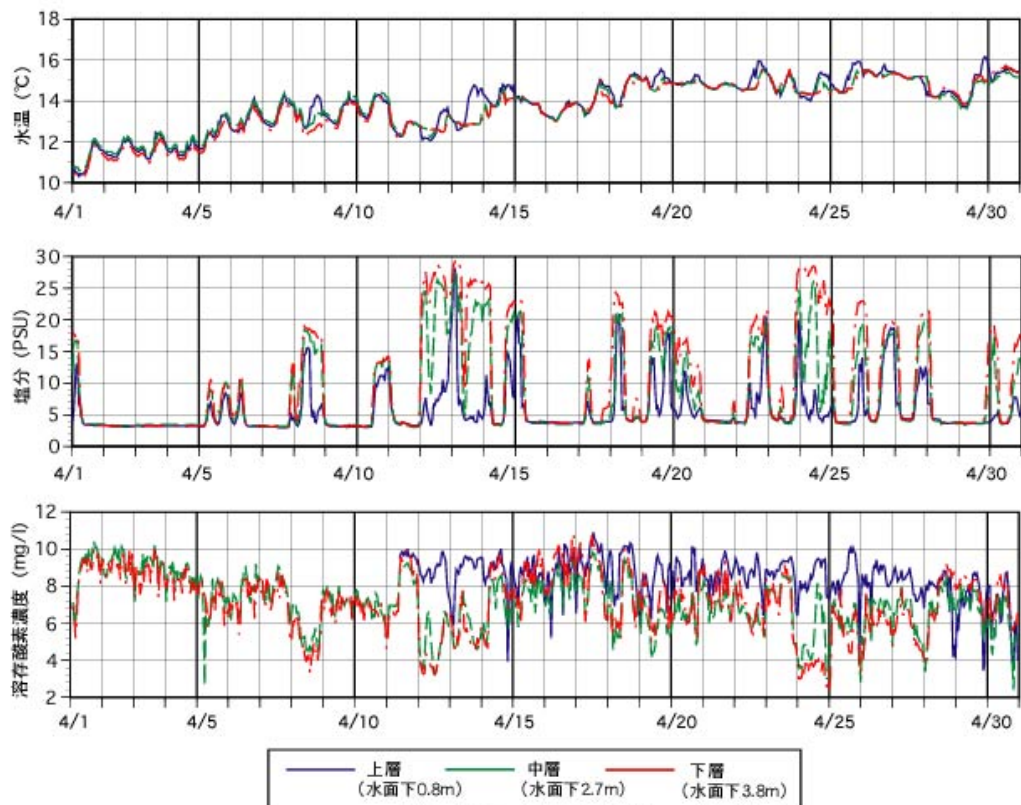


図1 水温・塩分・溶存酸素濃度の時系列変化

気象概況

4月は、表2に示すとおり、平均気温12.8（平年値12.5）であり、ほぼ平年並であった。

図2に示すように、4月の気圧変動は、4月5日、12・15日、20日、26日、に顕著な気圧の低下が見られた。

平均気圧1008 hPaは、平年値（平年値1016hPa）と比較して若干低かった。

表2に示すとおり、4月の日射量は、0.106 MJ/m²であり、3月と比較して大きかった（3月平均値：0.084 MJ/m²）。

4月の風向・風速は、平均風速3.6 m/sec（平年値3.4m/sec,西風）であり、平年並であった。

表 2 4月期の気象概要

	気温 ($^{\circ}$ C)	気圧 (hPa)	風速 (m/sec)	風向	日射量 (MJ/m ²)
上旬	11.7	1013	2.8	南東	0.115
中旬	13.1	1007	4.5	南西	0.106
下旬	13.7	1005	3.6	南西	0.096
月間平均 (4月)	12.8	1008	3.6	南西	0.106

(平年値は、平成 11 年気象の暦 (山陰版) (財) 日本気象協会中国センターより引用)

(表中の数字は、平均値を示す)

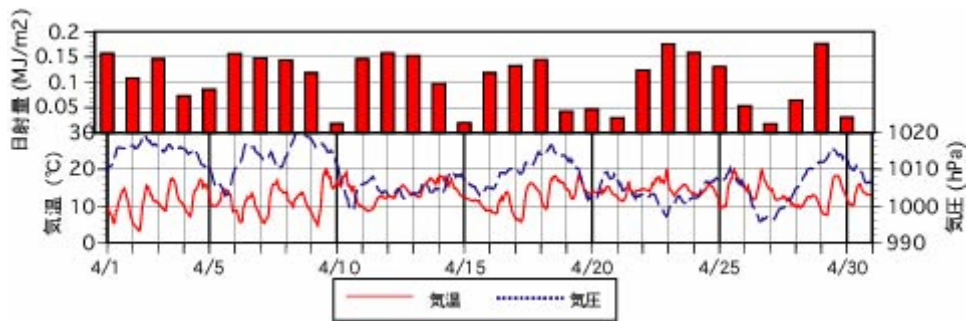


図 2 気温・気圧・日射量の時系列変化

流況

4月期の平均東方流速は、上層 21.0cm/sec、中層 14.0cm/sec、下層 12.6cm/sec であった。

4月の東方流速は、4月5日、12?15日、20日、26日の気圧低下時に中海から宍道湖へ向かう流れが卓越していた。

4月においては、全体的に宍道湖から中海に向かう流れが卓越していた。

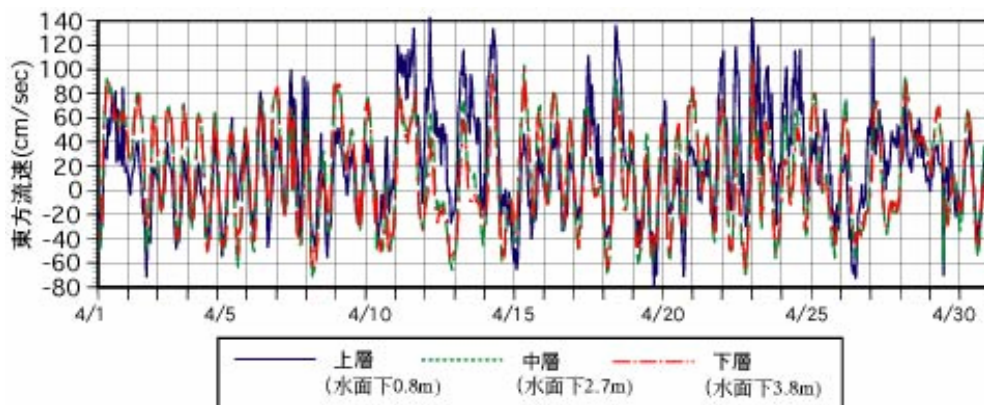


図 3 東方流速の時系列変化